

佐賀女子短期大学「子育て支援センター」便り 令和4年8月号

でんでんむし

雲ひとつない青空と賑やかな蝉の声に、夏本番を感じる8月です

気持ちよく晴れ渡った青空に、照りつけるような陽射し、いよいよ夏本番です。また、いつの間にか蝉の大合唱が聞こえてくるようになりました。真夏のピークを迎えています。それに伴い、熱中症のニュース報道も多くなってきました。室内でも熱中症になりますので、エアコンの活用や水分補給をこまめに行い、熱中症にならないように気をつけましょう。大人に比べると、子どもの体の水分量は多く、乳幼児は体の80%が水分で占めています。運動をしなくても汗や呼吸によって水分が失われます。なので、こまめな水分補給がとても大切です。『お外へ行く前に水分補給をする』『一度にたくさん水分を摂るのではなく、こまめに水分補給すること』『ジュースではなく、お茶か水で水分補給する』など、汗をかく前に水分補給をしましょう。



子育てワンポイントアドバイス

赤ちゃんのうちは、ベビーカーや抱っこ紐でのお出かけをするときでも、熱中症対策が必要です。短時間でも外に出るときは、帽子をかぶらせたり、保冷シートを使ったりして、熱がこもらないようにしましょう。体が熱くてぐったりしているときや顔色が悪いときは、熱中症のサインです。すぐに涼しい場所に連れて行き、水分補給をし、首や脇の下を冷やしてあげるとよいでしょう。さらに夏は、細菌の繁殖もしやすく、プール遊びで体の接触など感染症が広がりやすい時期でもあります。お子さんの体調管理に十分配慮し、早期発見・早期治療につなげたいですね。



夏の音色

夏の音色というと、セミの鳴き声や風鈴、花火などが思い浮かびます。ちなみに打ち上げ花火が打ち上がる時になる「ヒュー」という音は、花火が空気を切り裂く音と思われがちですが、実は打ち上げ花火に取り付けられた『笛』の音なんです。笛の中に火薬が入っており、それが燃焼されることで音になる仕組みで、「花火が上がりますから見てくださいね」という花火職人の演出なんですよ。今年も夏の夜空を彩る花火を楽しみましょう。



～ 子育て支援センター「でんでんむしの7月のイベントから」～

子育てイベント たなばた会

7月1日(金)～7日(木)まで「たなばた会」を行いました。1日(金)は子育てイベントとして、先着15組の希望される利用者に「手作り風鈴」の材料をわたし「でんでんむし」で作りました。ペットボトルを利用して作り、かわいい風鈴の音が涼しさを演出してくれました。




第2回イベント 22日(金)

テーマ:「夏の交流会～親子でいっしょに遊びましょう～」
講師:佐賀女子短期大学 教授 相浦 雅子 先生

アンパンマンの手遊び | パネルシアター | ふしぎな箱



今回のイベントは、佐賀女子短期大学の学生さん2名が手作りのおもちゃを持ってきてくれました。手作りのおもちゃはとても温かみがあり、子どもたちも大喜び!!学生さんと一緒に歌や手遊びなど、思い出に残るイベントとなりました。

今月のメニュー

- 4日 10:30～ 「でんでんカフェ」
- 11日 10:30～ 「子育て講演会」
 - ・演題:「心の栄養 絵本を楽しむ」
 - ・講師:佐賀女子短期大学 名誉教授 白根恵子先生



- 18日 10:30～ 「赤ちゃん広場」
 - ・内容:「親子でいっしょにおやつをつくろう」
 - ・講師:佐賀女子短期大学 西原 由紀 先生
- 18日 11:30～ 「食育相談会」
 - ・講師:佐賀女子短期大学 西原 由紀 先生
- 23日 10:30～ 「お誕生日おめでとう」

※全ての講座、イベントで託児あります。


